

おでかけだより

夏号 NO. 58

2018年7月1日



発行：NPO法人 おでかけサービス杉並 発行責任者：樋口 蓉子
 〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
 TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

おでかけサービスの活動実績を報告します!

おでかけサービス杉並では、去る6月9日に第14回通常総会を行いました。以下、移動サービス事業のこれまでの主な活動指標についてご報告します。



◆ 移動サービス実施回数（トリップ数）について

2010年度	2244回	2014年度	3521回
2011年度	2774回	2015年度	4081回
2012年度	3115回	2016年度	4859回
2013年度	3883回	2017年度	5261回

- 注1 トリップ数は乗車から降車までを1トリップと数えます。往復の利用があった場合は2トリップとなります。
- 注2 2009年度には新しく2団体が移動サービス事業を開始しました。
- 注3 2010年度から料金体系を時間制から距離制に変更しました。
- 注4 2014年12月、2016年8月、2017年8月にそれぞれ新しい団体が活動を開始し、一般区民を利用対象者とする（施設送迎型ではない）福祉有償運送団体は現在6団体となっています。

◆ 各年度末の利用会員数の推移

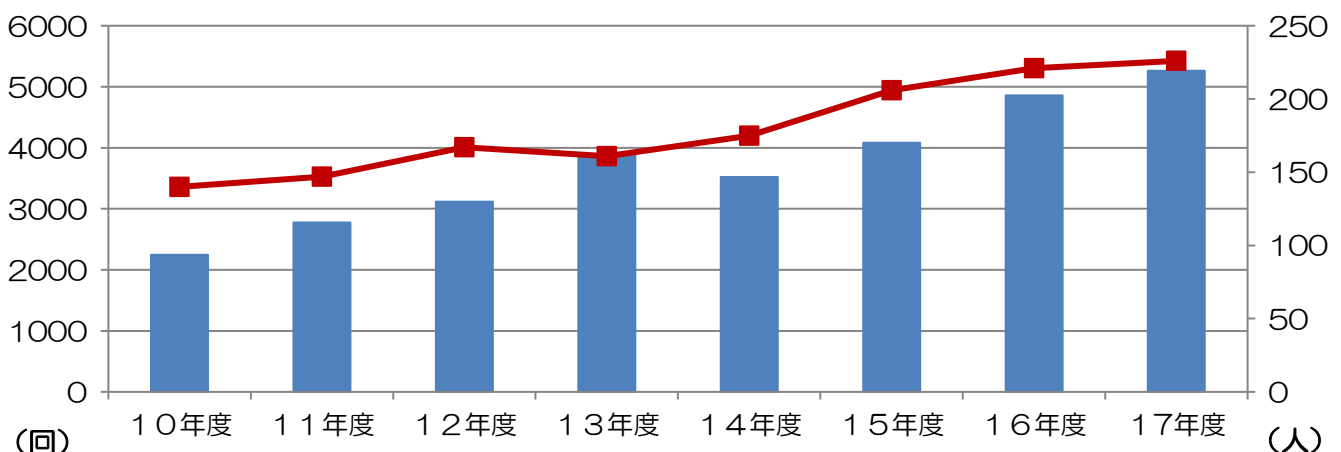
2010年度	140人	2014年度	175人
2011年度	147人	2015年度	206人
2012年度	167人	2016年度	221人
2013年度	161人	2017年度	226人

◆ その他

- 2017年度は利用会員数、及び利用頻度の増加により、トリップ数実績は当面の目標であった年間5,000回を超えることができました。2016年度比8%の増加になります。
- 2016年度末に221名であった利用会員数は、2017年度末226名と微増でしたが、会員一人当たりの利用頻度は22回/年から23回に増加しました。
- 登録運転協力員数は2016年度末の20名が18名に減少し、実働の運転協力員は13名に留まっています。運転協力員の確保は大きな課題となっています。
- トリップ数の増加に伴う事務所コーディネーターの仕事量の増加へは、非常勤職員の勤務時間数を増やすことで対処しました。

■ 移動サービス実施回数（トリップ数）と利用会員数

■ トリップ数
 ■ 利用会員数



今回の記事をお寄せいただいた森佑太さんは、2015年4月に「街中を走っている車両を見た」と家族からお問い合わせがあり会員登録をしていただきました。視覚障害の方のご利用はすでに何名かありましたが、それに加え音などに対する過敏性が強いとの事でいろいろな配慮が必要でした。そして3年が経過した今では、宿泊を伴う録音旅行などにも同行しています。



利用者の声



森 佑太さん

皆様、はじめまして。森 佑太です。

私は、視覚障害と発達障害を抱えています。発達障害の関係で感覚過敏があり、数年前まで家に閉じこもっていました。感覚過敏とは人により症状は違いますが、私の場合、音や触覚・においなどの感覚に過剰に反応して動悸や頭痛・吐き気などの身体症状に出てしまいます。

そんな私ですが、数年前から野鳥の声・波音・お寺の鐘など「様々な癒しの音」を録音するという活動を始めました。最初はとってきた音を自分で楽しんだり、知り合いに聞いていただくだけでしたが、おでかけサービス杉並の存在を知った同時期ごろに「音いろいろ」というページを開設していました。

<http://mori1134.sakura.ne.jp/> (ホームページアドレス)

ただ、開設しただけではいろいろな方のところへ情報が届きません。家族や親せき以外に知り合いもない、ページも開設したばかりで当時、パソコンでの音の編集の技術も習得途中で「これをどうやって充実させていけば良いのか」と試行錯誤していた時期でもありました。そんなとき、おでかけサービス杉並に登録しドライバーの田口さんとの出会いがありました。

最初は、会話もほとんどなく送迎をしていただいていたのですが、あるとき「自分の思いを伝えたい」という気持ちから、ポケットに持っていた名刺を渡してみました。そこから、ホームページをみていただき家族と近場の録音に同行いただくようになり、現在は家族から離れ録音のサポートをお願いしています。そして、出かけた先で出会う人たちに名刺を渡すことも暖かくみていただき、人とのかわりや接し方等も何気なく教えていただいています。以前、2月にもおでかけサービス杉並のトップページで活動の紹介をしてくださったり、樋口理事長ご夫妻とつながりくださったのも田口さんでした。

このように、おでかけサービス杉並と田口さんの存在は、私にとって人との関わりの練習ができる大きなきっかけをくださいました。

ほかにも、いただいた紙面の中ではすべてをお伝えできないほど様々な思いがあります。

この場をお借りしてお礼をお伝えします。ありがとうございました。

5月の初めに自転車で転倒し左肩を骨折してしまいました。自ら不自由な生活を送る中で、できないことの多さや動かせない辛さ痛みなど、利用者の気持ちを少しは体感することができ、良い経験だったと思います。

骨折後暫くの間は仕事のやりくりで団体の皆さんに迷惑を掛けましたが、幸い経過も良く今では完全復帰できています。

先日開催されたおでかけサービス杉並の総会では、各部門の活動総括・活動方針などが裁決されましたが、中でも今回のような不測の事態に備えた

『日常の業務を把握できる人材の育成』という項目が大きく議論されました。今年度もよろしく願いいたします。

コーディネーター 野口 恭子

コーディネーター
つうしん

